

事務事業評価における総括

| 部 局 名 | 下水道河川部 | 記入責任者 | 大竹 功 |
|--|--------|-------|------|
| 評価について（現状と課題） | | | |
| <p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>下水道河川部の政策的事業は 16 事業です。評価の内訳は、10 事業を S 評価とし、1 事業を A 評価、1 事業を B 評価、1 事業を C 評価、1 事業を Z 評価、2 事業を実績なしとしています。</p> <p>C 評価の 1 事業については令和 3 年度の事業展開に向けた用地測量の準備を進めることができ、今後成果が見込めるもの、Z 評価の 1 事業については新型コロナウイルス感染症の影響によるもの、実績なしとした 2 事業のうち、1 事業については対象となる補助金の交付申請がなかったもの、1 事業については既に事業を終了したものであり、事業は概ね順調に進んでいるものと評価しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>コロナ禍による様々な制約の中で目標が達成できたことは、業務の効率化を進めることができた成果と考えています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により Z 評価となった事業に関しては、感染防止対策を講じた上で今後実施していくこととしています。</p> | | | |
| 今後の方向性 | | | |
| <p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>近年の気候変動による頻発化・激甚化する風水害を背景に、国が進める国土強靱化・流域治水の施策に基づき、本市においても市民の安全・安心を確保するため、浸水対策や下水道施設の耐震化等の地震対策を推進します。特に、浸水対策については、雨水排除能力の拡大に向けた面整備に加え、貯留・浸透等の雨水流出抑制対策も併せて実施します。各事業の実施にあたっては、優先度を見極めた上で事業の効率化とコストの縮減を図ります。</p> <p>老朽化している下水道施設についても、限られた財源の中で「茅ヶ崎市公共下水道施設維持管理計画」に基づき、予防保全の考え方による改築更新を計画的かつ効率的に行い、下水道施設の維持管理を実施していきます。</p> <p>公共下水道事業は、長期的には人口減少等の影響により、下水道使用料収入が減少する等の厳しい財政状況も予測されます。コストとそれに対する収益及び効果を意識し、経営の質の向上を図ります。</p> | | | |